

# 一般質問

9名が登壇 市政を問う

\*この一般質問は9月8日と9日に行われたものです。

一般質問

## ・今後の上水道施設整備について



渥美昌裕

問

御前崎市の上水道施設の現状は、6施設、建物が16棟あります。うち、1施設は廃止済み、1施設は令和元年度～令和2年度で耐震化終了、他は令和5年度～令和6年度で1施設、令和7年度以降は1施設工事予定です。残り2施設は、約20年後以降となりません。また市内には、導水管、送水管、配水管が総延長で約449kmあります。更新事業には1km当たり1～2億円との試算があり、市では毎年1億5千万円程かけて老朽管の更新を行っています。これでは毎年1km位しかできません。上水道整備は時間とお金

が掛かります。今後の方針、整備対策、緊急時への対応を伺う

答

上水道施設は市民生活にとって、欠かすことのできないインフラの一つであり、安全安心な水道水を安定的に供給する責務があります。公営企業である水道事業は、料金収入をもって経営を行う独立採算制を基本原則としながら、市民の皆様に必要な

サービスを提供する役割を果たしており、将来にわたり本来の目的を持続していくことが必要であると考えております。整備対策につきましては、「御前崎市水道事業経営戦略」により現況施設の課題、計画の継続性、経営状況に留意して進めていきたいと考えております。緊急時の対応については、原因究明、情報収集に即座に対応し、早期復旧に向け対応いたします。市民の皆様にはSNSなどを活用し、迅速な情報提供を行ってまいります。



新野配水池

一般質問

## ・「おくやみコーナー」設置について



櫻井 勝

問

今後、高齢化や家族形態の変化などで、遺族が行う死亡、相続に関する手続きの負担は大きくなると予想されます。そこで遺族負担軽減のために、「ワンストップサービス「おくやみコーナー」」の設置について伺う

答

静岡県内におきましても、一括して死亡後の手続きが可能な窓口を設置している市町がございます。近隣では、掛川市において「おくやみコーナー」を設置し、17課79業務の手続きが可能で、令和3年度には625組の遺族が利用された実績があるとのことです。

本市市民課での、市内に住所を有する方の死亡件数は、令和3年1年間で、409件でございます。年間400組以上のご遺族が、市役所内の各業務について死亡関連の手続きをしたこととなります。

関連する手続きといたしまして、医療保険、公的年金、上下水道、市税など、7課28業務ほどあ

ります。

議員ご指摘のとおり、ご遺族の方の中にはご高齢の方も少なくありませんので、窓口におきまして、なるべく負担軽減となるよう、事前準備を行い、記入箇所を少なくするなどの工夫を行っております。

多くの業務を1か所へ集約するにはある程度の日数を要しますので、予約が必須となり、希望する日時に手続きができないといったケースも多く出ることが予想されます。迅速な対応を希望される場合は、現状と同じように各課をご遺族が回っていただくこととなります。

また、部・課をまたいだ全ての手続きを詳細まで把握することは難しいため、各担当の対応が必須となります。

そのため、組織の見直しや業務委託、また、本市で取り組んでいるDX推進状況を注視しながら、手続き書類の削減などを踏まえ、検討をしてみたいと考えます。